

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
 代表者の役職名 代表取締役社長 安 成 政 文
 (JASDAQ・コード番号8747)
 問 合 せ 先 専務取締役管理本部長 多々良 孝之
 電 話 番 号 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1

平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益
当第 3 四半期連結累計期間速報値 (平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (A)	2,621	△394	△309	△354
前 年 同 期 実 績 (平成 28 年 3 月期第 3 四半期累計期間) (B)	3,595	317	351	689
増 減 額 (A - B)	△973	△712	△661	△1,043
増 減 率 (%)	△27.1	—	—	—
(参考) 平成 28 年 3 月期実績	4,456	83	114	447

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

平成 29 年 3 月期第 3 四半期累計期間の我が国経済は、「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」に即した金融政策の継続や、公共投資の進捗などを支えに、穏やかな回復基調ではじまりました。8 月には事業規模 28 兆円超の経済対策が閣議決定され、さらに 9 月には金融緩和強化のための新しい枠組みである「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が導入されましたが、景気を押し上げるにはまだ不透明な面もあります。一方、世界経済は、11 月に米国大統領選挙で共和党のドナルド・トランプ氏が勝利を収め新政権への期待感や、堅調な個人消費による米国経済の回復が継続しているものの、英国の EU 離脱に伴う先行き不透明感や中国経済の減速により、当面力強さに欠ける状況が続く見込みであります。

このような環境のもとで、商品先物取引の総売買高は 1,375 千枚(前年同期比 10.3%減)及び金融商品取引の総売買高は 1,760 千枚(前年同期比 31.8%減)となり、受取手数料は 2,544 百万円(前年同期比 23.4%減)、売買損益は 74 百万円の利益(前年同期比 71.7%減)となり、以上の結果、営業収益 2,621 百万円(前年同期比 27.1%減)、経常損失 309 百万円(前年同期は 351 百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純損失 354 百万円(前年同期は 689 百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)を計上する見込みであります。

以 上